

トルコ学生と企業見学

静岡文化芸術大
芸術大 観光テーマの講座

静岡文化芸術大(浜松市中区)が地域企業やトルコ・イズミル経済大の協力で開催する「産学共同国際デザインワークショップ」が19日、同市内で始まった。両大の学生計20人が参加し、25日まで7日間の日程で、「静岡の観光十スローモビリティ」をテーマにした

ビジネスプランや製品のコンセプト、デザインなどを考案する。学生は5人一組の4グループに分かれて活動に取り組む。久能山東照宮や日本平などの観光地を見学し、グループごとにビジネスアイデアの議論を深め、最終日にプレゼンテーションを行う。協力企



スズキ歴史館を見学し、ものづくりについて学ぶ静岡文化芸術大とイズミル経済大の学生
＝19日午後、浜松市南区のスズキ歴史館

業はスズキ、ヤマハ発動機、東芝、トヨタ車

体の4社で、各社の技術者、デザイナーが指導に当たる。学生らは初日、同市南区のスズキ歴史館を訪れ、自動車の開発プロセスやものづくりの魅力を学んだほか、県の担当職員から県内の観光資源や誘客事業について説明を受け、アイデアを膨らませた。ワークショップは国際的で実践的な人材の育成を目指して2014年から始まり、今回が3回目。